

笑ったら今度は僕が許さんぞ

二時五十二分のバスで 帰宅。

芦屋が きのう、今日と休んでいる。
すぐに、自転車で、芦屋のところへ行った。

しかし、家には 入らなかった。
外から家の様子を見ると、
窓ごしに 家の中で オーバーを着て、
マスクして 立っているのが 見えた。
風邪だ。

僕は、自転車を止め、乗ったまま、
大きな口の動きと、
指文字を でっかく書いて、合図した。

「心配したが、元気そうで 良かった。
風邪移ると いかんから 帰る。
お大事に。」
と、時間かけて書いた。

芦屋も 窓の曇りに、
「ありがとう、明日は 学校行く。」と書いた。
寄らないで、すぐ家に帰る。

帰りは、向かえ風で、ゆっくり、
宇治川の土手に沿って 自転車をこいだ。

川の流れと 同じ速さの様に ゆったりと 走った。